



イベント 終了しました

「幸福」を哲学する（全2回）第1回「幸福」の哲学史散策——古代からアランまで

キーワード	日比谷カレッジ,アラン,幸福論
内容	<p>ある詩人が「私たちは豊かになろうとして貧しくなった」と言ったように、「私たちは幸福になろうとして不幸になる」のかもしれない。実際、「幸福」ほど人々につらい涙を流させた言葉はないだろう。にもかかわらず、「幸福」は古来、洋の東西を問わず、どんな虚無主義者も無縁ではありえない主題であり続けている。ひとを「幸福」にしないなら哲学に何の意味があるだろう、と言う者さえいる。この至極厄介な主題をめぐって「プロポ」という独特の形式で思索したの哲学者こそアラン（1868 - 1951年）にほかならない。出版から90年を経た今もなおアランの幸福論（1925年）が広く読まれているのはなぜだろうか。一見平易に見えるその主張にはいかなる哲学的思索が秘められているのだろうか。それをみなさんと共に考えてみたい。 (講師 記)</p> <p>【次回予告】</p>

	<p>■第2回：3月22日（水）19：00～20：40 アラン『幸福についてのプロポ』読解</p> <p>※全2回の講座です。各回でのお申込は受付けておりません。</p>
日にち	2017年03月15日（水） 19:00から20:40
日にち説明	18:30開場
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
関連ファイル	170315幸福を哲学する チラシ.pdf
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名（事前申込順）
参加費用	2,000円(全2回分)

講師・出演者	合田正人
プロフィール	<p>■合田 正人（ごうだ まさと） 明治大学文学部教授。1957年香川県生まれ。一橋大学社会学部卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科、パリ第八大学哲学科在籍。琉球大学教養部専任講師、東京都立大学人文学部助教授を経て現在明治大学文学部教授。著書に『レヴィナスの思想——希望の揺籃』（弘文堂、1988年）、『レヴィナスを読む』（1999年、NHKブックス、現在ちくま学芸文庫）、『ジャンケレイッチ』（みすず書房、2004年）、『心と身体に響くアランの幸福論』（宝島社、2012年）、『フラグメンテ』（法政大学出版局、2015年）など。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------

申込期間	2017年01月11日 10:00 から2017年03月15日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	<p>電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。</p>
------	---

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 03月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	

	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

発信日	2017.01.11
-----	------------

 印刷  リストに追加

[ツイート](#)